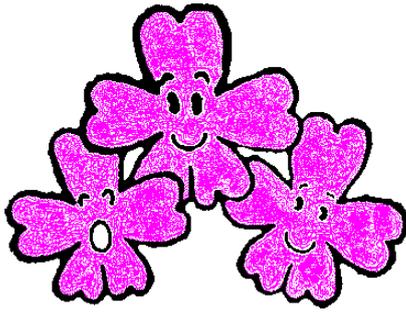


NO. 36

平成 29 年 1 月 15 日発行



こころ

特定非営利活動法人

指定就労継続支援 B 型事業所

阿波就労支援センターアスカ

〒771-1702 徳島県阿波市阿波町久原36番地2

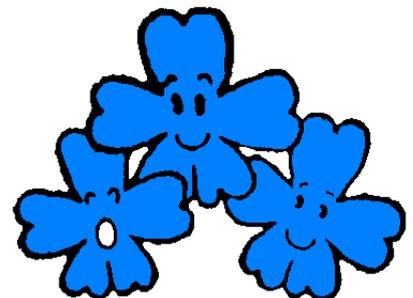
電話・0883(35)6020

FAX・0883(26)5560

メールアドレス info@npo-asuka.org

アスカホームページアドレス

<http://npo-asuka.jp>



NPO 法人アスカ

理事長 笠井 光顕

あけましておめでとうございます
皆様方には輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。
今年も尚一層皆様に愛されるアスカとして努力いたしたいと存じます。
年頭にあたり「もったいない」について述べてみます。「もったいない」という日本語に注目したのが、ケニア出身の環境保護活動家、ワンガリ・マータイさん（1940～2011、ノーベル平和賞受賞者）です。
来日時にこの言葉と出会って感銘を受けたマータイさんは、地球環境を守るため、「MOTTAINAI」を世界共通の言葉として広めることを提唱しました。リデュース（ゴミの発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再生利用）という、環境保護のため「3R」を一語で表せるだけでなく、物に対するリスペクト（尊敬）の気持ちまで含んだ言葉は、ほかの言葉には見当たらないようです。私たちが「もったいない」という言葉を使うとき、そこには“せっかくのおいしい食べ物が”“貴重な資源、まだ活用できるのに”というように物の「いのち」を惜しみ、大切にしたいと思う気持ちが込められています。これは物質的に豊かになった現代社会においても、もう一度見直したい「日本人の美しい心」といえるでしょう。
話は次へ進みますが、アスカでは毎週水曜日にキョーエイ山川店でリサイクルの回収作業を実施しています。作業名は、はっぴいエコプラザです。はっぴいエコプラザは、各地域の福祉法人やNPO法人により運営され、ここで得られる収益は、当施設では作業者の給与等に活用されています。キョーエイさんから運営場所と器具を無償で提供して戴いています。
最後になりましたが、本年もよろしくお願い申し上げます。



捨てるゴミ

分別すると資源に



なりますね！



活動報告

平成 28 年 7 月 14 日～ 健康診断始まる

平成 28 年 7 月 2 日 3 日

手をつなぐ育成会全国大会 職員

7 月 9 日 水中ウォーキング

7 月 12 日 サービス調整会議

7 月 23 日 職員会議

7 月 26 日～30 日

夏期社会適応訓練事業

平成 28 年 8 月 2 日 アエルワ防災訓練参加

8 月 6 日 カラオケ・職員会議

8 月 24 日～26 日 体験受け入れ

8 月 29 日 調理実習

8 月 30 日 31 日

行動障がい研修 職員

平成 28 年 9 月 1 日 2 日 相談支援研修

9 月 3 日 職員会議

9 月 7 日 はぴエコ会議

9 月 10 日 水中ウォーキング

9 月 13 日 サービス調整会議

9 月 19 日

スポーツ大会参加

希望者 交流プラザ

9 月 24 日 25 日

手をつなぐ育成会

中・四国大会 職員

平成 28 年 10 月 1 日 職員会議

10 月 8 日 水中ウォーキング

10 月 18 日 アエルワ

防災訓練参加

10 月 22 日 職員会議

10 月 29 日 地域共同作業所

第 14 回ふれあいフェスティバル

平成 28 年 11 月 3 日 職員会議

職員研修 教育センター

11 月 8 日 もちつき大会

阿波地区民生委員・

児童委員協議会の皆様と一緒に

サービス調整会議

11 月 11 日 スポーツ大会

市場 希望者

11 月 12 日 水中ウォーキング

11 月 13 日 障がい者交流プラザ
総会

11 月 14 日 阿波銀福祉基金受取

11 月 15 日 給食会議

11 月 16 日～18 日 支援学校

実習生受け入れ

11 月 19 日 調理実習

11 月 26 日 遠足

京都国際まんがミュージアム

11 月 27 日 はなまつり参加

アワーズ 希望者

11 月 30 日 工賃向上計画

研修会 眉山園

平成 28 年 12 月 3 日 職員会議

平成 28 年 12 月 10 日 水中ウォーキング・

合同研修会 アトリエひまわり

12 月 11 日 人権フェスティバル
参加 希望者 アエルワ

12 月 12 日 大人の発達障がい
研修に参加 職員

12 月 14 日 調整会議

障がい者交流プラザ

12 月 15 日 アスカ非難訓練実施

12 月 16 日 障害福祉セミナー
研修障がい者交流プラザ 職員

12 月 28 日 大掃除&忘年会

第五回 中国 四国大会

手をつなぐ育成会「すまいる大会」に参加して

生活支援員 橋本 昭徳

私は第4分科会「高齢期の生活を支える」をテーマに2施設の取り組みと現状課題を交えた研修会に参加しました。

始めに島根県社会福祉法人いわみ福祉会総合福祉施設ミレ青山の桑原文寿さんから総合福祉施設ミレ青山を中心に社会資源の開発についての取り組みの説明がありました。40歳までを目途に自立し、社会の中で生活を行うためにどのような社会資源が必要か。また、無い資源をどのように開発していくのかなど、様々な観点からみた地域の現状を話してくれました。

障がい者の高齢期においては、介護保険と障がい者支援法の課題を言及した話を聞かせてくれました。その中で、施設を中心とした生活を送るのではなく、社会の一員として地域で生きていくための制度の活用が必要であることを節度を感じる事が出来ました。しかし、障がい者も年齢を重ねれば介護も必要となってくる。その反面介護は必要ではないが、何らかの手助けが必要であるのに介護保険は適用されないなどの現状に高くそびえる壁があるように感じられました。

続いて徳島県社会福祉法人愛育会の亀井満由美さんより取り組みについてお話がありました。施設概要を始め、入所者の現状を踏まえて立て替えを行い「障がいのある人一人ひとりが尊厳をもって、その人らしい充実した人生が送れる」スペースを作りたい「男性と女性が共存する当たり前の生活」を提供していると話されていました。様々な話がある中で一番重要なのは「人生のターミナル」だと感じました。《看取りからターミナルへ》とこの課題こそが現在の問題点だと感じました。「親亡き後」この言葉が示すように親はいつまでも我が子を大事に思う気持ちが大きくその後の生活も心配されています。この施設では、本人に・家族に寄り添い歩いていく地域の重要性を兼ね備えたところだと感じました。

最後に、広島県一般社団法人広島県手をつなぐ育成会会長副島宏克さんより総評を兼ねながら見る我が国の取り組みについてお話がありました。地域生活支援の拠点づくりや自立支援協議会を立ち上げることにより、孤独・孤立の防止につながり社会が一つとなって支え合う仕組みづくりなど必要性を話してくれました。質疑であった「地域で気をつけて見守っていたが熱中症で亡くなっていた」相談では「地域での取り組みでは限界を感じる場合が多く、行政を見方につけ様々な専門職との連携を図ってもらえるようにもっていく必要がある」と話されていました。

平成 28 年度発達障がい教育講演会に参加して

生活支援員 横川 英里

講師アズ直子氏による、これまでの生きづらさ等自らの体験を通してお話されました。

まず始めに環境設定から始まり気分が悪くなった時、トイレに行きたい時は自由に行って下さいなどと配慮を行う事は珍しいことだと思いました。

アズ直子さんが始めて生きづらいつと感じたのは小学校一年生の時で、当時の自分にもしてあげられることがあるなら、こうしてあげたい事を書いた詩を紹介してくれました。その中で友達の飼っている犬がなくなった時に、以前怖い思いをその犬にさせられたからと言って「良かったね、なんて言わないで」と言ってあげたい。

アズ直子さんにとって発達障がい者とは、「心と体が敏感な人」だと話していました。体質的な特徴としては光・音・ニオイ・接触過敏や姿勢の悪さ偏食など、気質的な特徴としては興味の範囲が狭い。ネガティブ思考・空気が読めない・真に受けるなどがあると話していました。二次障害の睡眠障害・うつ病・不安神経症などもあり、不安神経症は体を温めてあげると良いと言っていたので不安状態で冷えている利用者様に対しての支援に取り入れることが出来そうだと思います。

どうしてアズ直子さんが上手くいくようになったかという話で

1. ルールの徹底と具体的なし指示
2. 集中するためにベビーステップにする
3. 懲りないようにするために落ち着いて一つずつやってみる

ダメでも諦めずに繰り返す

この三点に気がつけたそうです。

アズ直子さんは最後に「1つ1つ一点突破の方法で成功し今がある」と自信を持って言い切っていました。それがとても印象的で1つずつコツコツと積み重ねることで成功し、上手く特性と付き合い武器にしている姿に励まされ、すごいことだなと思いました。

発達障がいの方の感じ方や過敏なところを配慮しつつ、今後支援の参考にさせて頂こうと思いました。

夏期社会適応訓練事業

平成 28 年 7 月 26 日から 7 月 30 日
今年は 4 名の生徒さんが参加されました

買い物実習

バーベキューに必要な材
料を買いに行きました



世界に 1 つだけのオリジナルの財布を作りました！



各支援学校の先生方にご協力いただき
ありがとうございました。

28 年 7 月 30 日 (土)
神戸 北野工場のまちにて



防災訓練

28 年 6 月 23 日 全国一斉訓練放送 (緊急地震速報) 第 2 出張所にて実施

28 年 10 月 18 日 アエルワ防災訓練に参加

28 年 12 月 15 日 火災訓練実施



徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会
第14回ふれあいフェスティバル

日時：28年10月29日

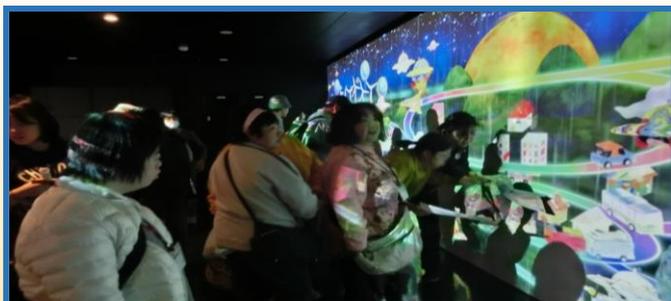
場所：那賀町あすなる作業所

メンバー同士の交流会は全国的にもめずらしく今年で14回目になります。

地域の方が作った、ちらし寿司はとても美味しかったです。

今年はアスカの利用者さん2名、成人のお祝いをして頂きました。

あすなる作業所から美術館川口ダムへ散歩。清しい空気に森林浴効果でストレス解消



あら不思議！自分の書いた絵が壁に映り動いているよ！



もちつき

日時：28年11月8日

場所：バーベナの里

阿波地区民生委員・児童委員協議会の皆様のご協力により今年も盛大にもちつきを行うことが出来ました。ありがとうございます。





遠足 平成 28 年 11 月 26 日

場 所 : 京都国際まんがミュージアム



二人の似顔
絵とっても
素敵です☆



遠足の決め方は、事業所が何箇所かを選んで利用者さんのアンケートで決めています。まんがミュージアムの中は撮影禁止でしたが、それぞれ楽しみました。



忘年会

平成 28 年 12 月 28 日

場所 : 天山閣

参加者 : 35 名



賛助会員の皆様

(順不同で敬称を略させていただきました)

28年度

賛助会員に新しく入会して頂きました

北上 正弘 橋本 邦昭 吉田 茂之 野口 正良 林功一郎 村上 望夢 新居 美代
橋本 昭徳

更新して頂きました

笠井 孝珍 新宮 大輔 正木 孝晴 坂東 誠一 芝原 絹子 田處 由久 林 進一
北尾 佐代 岡本 公江 麻 恒夫 七條 節 青江 博文 米倉 忠幸 安田 勝裕
若木 敏子 正木 文男 十河 茂夫 山口 敬子 中野 芳輝 瀬尾 浩子 石本 勝也
田中 宏和 鐘江 智隆 吉田 麻美 松本 恵子 武田 宏 蔭山 妙子 川端 郷介
佐藤 敏子 住友 朋江 松尾 公子 六車 時子 藤原 茂子 小方 英史 坂東 一宏
尾上 典正 尾崎 明美 新見 順子 中野 登 田處 誠悟 藤川 正人 矢野 誠
西岡 徳代 近村 秀美 平尾美代子 岡本ゆかり 佐々木良美 星野 幸子 矢野 豊次
鈴江 孝男 鈴江 栄子 関 敏明 尾崎 俊行 楠 晴子 松永 洋子 伊原 裕子
笠井 一司 福井 公子 梶原 静代 井内 尚美 松本 和彦 横島 寛
(株)ゴール 田處製作所 阿波地区民生委員・児童委員協議会
笠井 光頭 新居 淳子 青木 初美 武井 絵美 佐藤 邦明 横川 英里 細谷 千保

私たちの趣旨にご賛同いただき、あたたかいご支援感謝申し上げます

第6条 この法人の会員は、次の2種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人及び団体
- (2) 賛助会員 この法人の目的に賛同し、事業の支援を希望して入会した
- (3) 個人及び団体

年会費 正会員 一口3,000円

賛助会員一口1,000円 団体一口5,000円

〒振り込み 特定非営利活動法人アスカ

口座番号 01600-9-130835

2017年

平成29年1月5日



編集
だより

あけましておめでとうございます。
日ごろはNPO法人アスカの運営に格別のご理解
とご協力を賜り誠にありがとうございます。
今年もアスカの利用者さんにとって、豊かな生活が送
れるよう微力ながら精一杯頑張っていきます！
よろしくお願いいたします。



今年こそはと
心にいだいております
誘惑に負けない！



Chihoh